

平成30年度長野県地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	SNOO アウトドアフェスティバル 2018 in 駒ヶ根
事業主体 (連絡先)	南信州アウトドア協議会 (長野県駒ヶ根市赤穂 759-700 0265-98-9797)
事業区分	産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,827,008 円 (うち支援金: 2,508,000)

事業内容

実施時期: 2018年5月19日20日(2日間)

会場: 駒ヶ根高原家族旅行村

規模: 県内外約1300名

開催内容: 以下に記載

- 約30社のアウトドアメーカー様やショップ様に実際に出店もしくは委託展示して頂き、普段手にすることの少ないキャンプ用品、カヌーやSUP用品、ハンドメイドカヤック・マウンテンバイク、スラックライン、ダッチオーブン、ウェア、フィッシング用品、その他多数の商品を展示、体験できたことで来場者の皆様にアウトドアスポーツへの関心を高めることができた。また、事前予約により展示テント宿泊体験も開催も行い、大いに好評を博した。
- キャンピングカーメーカー様に様々な種類のキャンピングカーを展示して頂き、多くの方に新しいキャンプスタイルを提案することができた。
- メーカーや販売店によるアウトドア入門基礎講座など来場者との交流を図ることができた。
- 映像作家(熊谷友幸氏)を招き会場内特設ステージにてドローン体験を実施。ドローンの操作体験の他、実際にライブ撮影画像を楽しんだ。また、演者による県南部のドローン映像も鑑賞して頂き、来場者にドローンの有用性や県南部の魅力を印象付けることができた。
- 5名の著名なアウトドアマン(上野勝美氏、呉本圭樹氏、石垣尚男氏、飯島浩氏)による講演会を開催し、多くの参加者の方に南信州のアウトドアフィールド素晴らしさや、様々なアウトドアスポーツの魅力をピーアールすることができた。
- 地元アマチュア・プロミュージシャン5バンドによる野外ライブを夕方から夜にかけて会場内で開催し、同時に地元飲食店15店舗にも出店して頂いたことで、地域や来場者と出展者や講演者との交流を深めることができた。
- 初心者向けの楽しいBBQ・野外料理講座(ダッチオーブン料理からメインまで、BBQの基本とデモンストレーション、スモーク料理の基本等)の体験を通して地元でとれた食材や食品をPRし、また観光客と地元住人との交流を深めることができた。



【アウトドア用品の展示即売】



【マウンテンバイク体験】



【カヌー・サップ体験】



【キャンプ用品の展示体験】

- キャンプ場の敷地内の池にてカヌーや SUP 体験、会場の林内でスラックラインのデモンストレーションや体験、同林内の特設コースでマウンテンバイクやストライダーの体験、会場林内でツリークライミングの体験、会場や敷地内の池にてフライフィッシングの体験を実施した。

キャンプ場敷地内や駒ヶ根高原を使ったアウトドアアクティビティの体験会をファミリーから幅広い年齢層の多くの方に体験して頂き、県南部でも十分にアウトドアを楽しんでいただけることを PR することができた。

- 県南部の産業や物産の展示販売を実施。地元の物産店様にご出店頂きこれによってあまり町場に行かない県内外の来場者に対し地域の PR もできた。また、今回は木曽地区から木曽漆器生産組合様にも多数ご出店頂き、今まであまり交流のないアウトドアの客層との交流や PR を行うことができた。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

県南部の自然やアウトドアを含む観光産業をより魅力的な商品として PR することができた。

会場内に地元産業や物産のブースを設け物産や地域を PR することができた。

出展企業同士の異業種交流を行い、企業や人の交流の場として活用できた。

駒ヶ根高原への誘客数が少ない時期に開催することで、誘客数を増やせる可能性を確信した。

駒ヶ根高原や周辺地域の PR のきっかけを作ることができた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

実行委員会の中心である南信州アウトドア協議会が地域と協力して、より地域が前面に出るように、また地域の様々な企業や人の交流ができる場をコーディネートしていく。更に継続的な取り組みとして県南部全体に広げていく。また、今年度はキャンプ場という限られた場所での取り組みだったため、駒ヶ根高原全体への観光振興には繋げ難かった。来年度からは、菅の台へ会場を移して駒ヶ根高原全体への観光振興に寄与していきたい。



【フライフィッシング体験】

【目標・ねらい】

- ① 来場者に様々なアウトドアを体験してもらい、アウトドアにより興味を持ってもらう。
- ② 出展同業者同士の交流
- ③ 出店異業者同士の交流
- ④ 地域とアウトドア業者の交流
- ⑤ これらの交流により新たな商品を創造し、地域活性を図る

※自己評価 【B】

【理由】

- ・多くの来場者や出展者にアウトドアレジャーの楽しさを体験して頂けた。
- ・出展者同士の交流を図れることができた。
- ・地域の物産を来場者に知ってもらえた。
- ・次回への期待を高めることができた。
- ・菅の台全体の取り組みにはならなかった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある